



# 地区ニュース



People at Peace



PR情報委員長 飯塚平八郎・副委員長 八嶋誠・委員 西野茂 田久保辰男 山村政男 木内直義 月崎春仁 萩野武雄 鎌田有郎・地区ニュース編集委員 渡辺誠之 川崎忠男



ありし日の故式場ガバナー

## 式場ガバナーのご逝去を悼む

名誉顧問会議長 L. 杉浦 明



式場ガバナー、L杉浦でございます。

昨日来、複合地区ガバナー協議会が、茨城県で開かれて

おり、それに出席しておりましたが、ガバナーの突然の悲報に接し、唯今ご霊前に駆けつけた処でございます。

新地区の初代ガバナーには、あなたをおいて他にないという、千葉県ライオンズの熱烈な要望をたずさえて、ご無理をお願いした者の一人といたしまして、極めて複雑な心境で、ご霊前に直立いたしております。

それにいたしましても、20年間クラブ例会に無欠席とおききいたしておりましたあなたが、一瞬の間に、お亡くなりになられるなど、どうして信ずることができましようか。

5月の初めに、少しく健康を害されたと伺いましたが、あなたは、一日も早くお元気になられて、フェニックスの国際大会エレクトセミナーに出席なさるのだと、おっしゃられて、地区年次大会に欠席されてまで、入院の日を早められたとおききして、年地区運営に賭けるあなたの燃ゆるような情熱に、ひそかなおどろきと大きな期待を寄せる思いで、その全快の一日も早からんことを祈っておりました。

その式場ガバナーが、こんなにも早く、ご逝去なされるとは……万感胸に迫り言葉もございません。

あなたの、地区ガバナーとしてのスローガン「豊かさで知性で創るコミュニティ」はすでに、地区構成員やクラブ三役に熟知されております。

あなたの新地区運営のプログラムは、すでにメンバーに伝達されております。

そして、あなたのガバナーとしてのご意志は、あなたのキャビネ

ットの吉原幹事をはじめ構成員一同によって必ずや継承され、具現されることを信じて疑いません。

あなたの角膜は、あなたのご遺志をご理解なさる奥様によって、光りに恵まれない不幸な人々に献じられたとうかがいました。ライオンイズムとは、思いやりであり愛であると信ずる私は、ガバナー式場倭文夫ライオンの全生涯こそ、ライオンイズムの権化であり、ライオンズの鑑であると今更ながら尊敬の念で一ぱいでございます。

式場ガバナー、あなたの新地区運営の理想は、あなたのキャビネットによって、千葉県ライオンズの中に永遠に生き、あなたの眼は、これをいただいた光明なき者に光を与え、両々相俟って、永遠不滅の生を得られました。

とは申しながら、再び、ガバナーの温容に接し、その聲咳に接することはもうできません。私たち千葉県のライオンズは、この悲しみに堪えながら、式場ガバナーが身をもって示された、ライオンイズムへのあくなき精進をお誓い申しあげ、永訣のことばといたします。

式場ガバナー、さようなら。



ご自宅で行われたご葬儀

## 特 報

# 8月22日緊急キャビネット会議開催 ガバナーに吉原幹事を推挙 キャビネット副幹事を増強 L.渡辺誠之、L.関口博之が就任

「地区ニュース」No1で既報のとおり、吉原幹事は、7月22日、ガバナー代理を兼任することになったが、更に8月22日午後2時から午後3時20分まで、千葉興業銀行千葉駅前支店で開催の緊急キャビネット会議において満場一致を以て、後継のガバナーに推挙され、近く、国際理事会の承認を得て就任の予定となった。吉原新ガバナーの獅子奮迅の活躍を祈ってやまない。

なお、副幹事に就任の、L.渡辺誠之（市川LC）は地区ニュース編集委員を兼任のまま、また、L.関口博之（市川LC会長）は年次大会副委員長を兼任のまま、ともに二重三重の活躍を願うことになった。

式場ガバナーのご逝去に伴い、早急に後継ガバナーに係る重要議題を討議するため、前地区ガバナーL清水武男により、緊急キャビネット会議が招集された。

L清水は、333複合地区ガバナー協議会議長として、香港における第20回東洋・東南アジア・フォーラム準備に参加中のため、名誉顧問会議長L杉浦明が、丁重なL清水のメッセージを代読の上、議長を代行された。

### （審議事項）後継ガバナーの推挙について

議長は、議案上程の趣旨を重ねて詳述の後、満場にはかったところ、全会一致、万雷の拍手の中で、現ガバナー代行・キャビネット幹事L吉原稔人が後継のガバナーに推挙された。L吉原は、近く開催の国際理事会において承認の上、正式にガバナーに就任される。

### （幹事報告その他）

- ① L杉浦明はこのたびライオン誌日本語版委員会編集長に就任
- ② キャビネット副幹事の増強について  
L.渡辺誠之・L.関口博之が指名された。
- ③ リージョン及びゾーン内の規定クラブ数について
- ④ 会長懇談会について
- ⑤ ガバナー公式訪問について
- ⑥ 会員増強・EXTについて
- ⑦ 国際協調・LCIFについて
- ⑧ ライオネスクラブのEXTについて

本会議後、3:30~4:30P.mにわたり、付属会議としてZC・委員長会議・PR・編集委員会、DDG会議が開催された。



## 国際協会 吉原ガバナーを任命

去る1981年8月30日（現地時間・日本は1日遅れ）シカゴ、オークブルック国際本部で開催された、国際理事会に代わる執行委員会で、L吉原稔人（市川LC）を、333-C地区ガバナーとして任命する旨の電報が、事務局に届いた。これで、ガバナーに関する一切の手続きを完了し、名実共に、新ガバナーの誕生を見たのである。

### 青少年対策（YE）委員会からのお願い

YE・C発008通達、各クラブ会長あてに派遣及び受け入れホストファミリー申し込みの依頼をしましたが、ホストファミリーにつきましては、冬季受け入れ（1月2

日～15日）を含めて申し込みを受付けておりますので、よろしくお願い致します。メ切10月20日。

### 各R毎に会長会議開かる

7月23日第5Rを皮切りに、9月7日第1Rまで、各R毎に会長会議が開かれ、吉原Gov代行及びキャビネット内局が巡回し、R内地区役員との協力のもと式場Govのご逝去に伴うキャビネットの経過及び今後、そして公式訪問等について有意義な会議が開かれた。





# 緊張感のある友情のなかから 式場理念の伝道者として



333-C地区ガバナー L.吉原 稔人

“笈を負うて師に従う”つもりで、式場ガバナーの手助けの役をお引受けした時には想像もつかない運命の展開で、その職を継ぐ身となりました。人生まさにあしたの露の如しを実感しております。しかし、組織に連なる者として、何時迄も感慨にふけてもおられません。本年度の内局の一翼を担っていた身として、式場ガバナーを補佐し、創り上げてきた基本理念を具現する為、その伝道者として、内局共々地区内行脚の歩みを進めます。

式場理念は、本年度地区ACTスローガン“豊かさや知性で創るコミュニティー”が、同時に、地区の、そして、クラブの運営スローガンだった所に象徴されます。ライオンズの奉仕活動が真に価値があるとすれば、それはそのスケールに依るものではなく、豊かな、暖かい、ふくよかな人間関係、知性的な発想にもとづく友情から生み出される所に存在する。

その新しい地区づくりの原点に、式場Lの強烈な個性が加味された時、さまざまな面で見事な結実が具現する筈でした。卒直に云って、式場Lが千葉県ライオンズ発展の為、文字どおり獅子奮迅の活躍をされた時代は、市川クラブ結成後数年間の事ですから、現在の皆様にとって“なじみ”のうすい存在だったかも知れません。しかし、式場Lのライオンズへの情熱は、いささかの衰えもありませんでした。私は、及ばずながら師の道を懸命に辿るつもりです。

本年度のキャビネットテーマ、“退会防止 — ゼロ・ドロップアウト”も、単に数の上での退会者ゼロを目指したものではありません。“ドロップ・アウト”は、単に会から脱げることのみではなく、“既成社会に幻滅して”退会する意味を持っています。従って、ゼロ・ドロップアウトは、会員にとって真に魅力のあるクラブとはどんなものか。会員に幻滅を与えるものは何か。その原点に戻ってすべてを洗い直す運動なのです。

野球の野村克也氏の言葉に、“チームワークと仲良しが同じ次元でとらえられた時、集団の機能は低下してしまいます”という述懐があります。私たちクラブにとっても、きわめて含蓄のある言葉だと思います。盲人と盲導犬が、一種の血のつながった友情に結ばれていても、一切の甘えは許されず、日々緊張感につつまれた関係を保持しなければならないように、私たちも、緊張感のある友情のなかから、何かを生み出してゆかなければならないと信じます。私たちのスローガンにある「知性」は、言うなれば友情の緊張感、ある種の抑制因子だと思います。そこにふくよかな人間関係を創り出す源があります。

今後、多くの皆様からご教示頂くことを楽しみにいたしております。

## 吉原ガバナーの横顔

キリストを伝えるマタイ伝、ルカ伝にも似て、今は亡きガバナーの志を継ぐ第一人者として、式場ライオンズムの吉原伝を綴るその人。はにかみと優しさは知性人特有の外柔の部分、ネバリある文章と語り口は自信に漲る内剛の部分。明析とひらめきを内に隠し、苦痛は自分でとり込む人柄である。

全客車駆動モーター内蔵の合力パワーを持つ新幹線はコンピューター制御で、昔のSL蒸気汽関車の俺についてこい式でないのに似て、新しいタイプのリーダーである。大向うを唸らせる演説ではなく対話を好み、キラ星に並ぶ式典調よりもリラックスな例会調をと公式訪問に望む心情。友情が醸されなくてはACTも運営もそれ自体ライオンズのよきはないと断言する信念。口説きのためには長駆も時間も惜しまないという式場学校は、誠意、熱意、創意を尊んだ。遮二無二折伏するのではなく、ユーモアのオブラートで呑みこませる術はさすがである。

数字に強いこと。現況認識と価値評価は直ちに計数で記憶される。語学に強いこと。それは単に理解力を超えて同時通訳のスピードをもつ表現力である。千葉市のCAB事務局へ指令する御宅の事務室～応接間には御専門

の歯科器材に関する内外文献、鑄冶金学系辞典は当然として、複写機、複写用カメラ、英和文タイプライター、各種電子事務機のいずれも新鋭機種が稼動状態でセットされている。—— とうとうと単にメカニックの人と思われるが、どっこいそうではない。

それは地区ニュース前号、ご当人の弁「青年期に名もない貧乏劇団の裏方をやって、その魅力に取憑れた……」とあるように、人文系の、素養豊かな資質にめぐまれた類まれな知性人である。

ひと昔まえの、カリスマ的ガバナー像から幻影をとり除き、自らクラブライフの延長線上に置きたいとされるご自身の念願どおり、真の敬愛心で会員が接しうることには、私は新しい333-C地区の曙を感じずに居れない。

ホームクラブではヨーさんと呼ばれるが、水戸の谷口名誉顧問は稔人(としと)をもじって、稔人(ねじりと)と親しみのアダ名を呈された。長いライオンズのつきあいの中で、ひとすじ縄ではいかに芯の強さを感じられたものか、言い得て妙。併し旧聞時効に属するアダ名に変えて、誰かこのよきガバナーに新しく捧げる人はなきか。

(CAB副幹事 L北村泰彦)



# 吉原ガバナーの誕生を祝って

年次大会顧問 L.小泉 昭

先頃、千葉県ライオンズのB地区からの分割独立が本決まりとなり、新生333-C地区発足のための準備委員会が構成されたとき、私も元C A B運営経験者の立場から委嘱を受け、不肖をも省みず常任委員として参画させて頂いた。何回かの会合の最初の頃、会議のために渡された準備書類を受取った私は、少なからず吃驚させられたのである。その内容は新生地区としての理想を基盤に、地区運営のための方向づけが克明にしかも整然と企画され、ガバナーを中心とした年間行動に至る迄、C地区運営の要諦が至れり尽せりの状態で盛り込まれてあり、会に諮る資料とは云いながら、その俣にして既に完璧に近いものであった。頭の回転の悪い私などは、ガバナーの人選も未だの状態の中で、これ程のお膳立てを決めてしまおうとする準備委員会なるものの有り方は少々越権に過ぎるのではないかとさえ、その進行振りをいぶかる気持であったが、後々会合を重ねるに及んで、如何にもこれ程の事を論議しておく必要性を理解した時、この資料作成者のライオンズに対する経綸の深さ、その緻密な頭脳と積極性に対し深く敬意を覚えたのである。誰れあらん、この企画推進者こそ、当時準備委員会事務局を担当された吉原稔人Lその人であった事は申す迄もない。

ここで論議されたガバナー選出手順に基づいて、新生初年度ガバナー候補に式場倭文夫Lが説得を受諾され、吉原LがC A B幹事として名実共に新生地区に相応しい最高級のスタッフによる発足が第一歩を踏み出そうとした矢先に式場ガバナーは病に倒れ、遂には地区メンバーの前にそのお姿を見せる事もなく、在任1ヶ月を以て他界されてしまったのである。式場ガバナーご自身のご無念もさる事ながら、式場ガバナーによる新しい地区運営を最高のものとの結論を信じ、敢てガバナー選出規程を

超えたC地区初年度特例を以て式場Lのガバナー就任を熱望した関係者の落胆は目に余るものであったと言えよう。況して、式場Lによってライオンズに開眼し、最大級の尊敬をもって私淑され、ガバナー職執行不可能な状況下に於ても、頑固な迄に式場ガバナーを立て通し、地区運営に腐心されて来た吉原C A B幹事の心境はおし計ることさえできない。遡って、私もC A B運営に参画していた時加藤元彦ガバナーを亡くしてしまった経験を有する。ガバナーを失った時、運営に当る者の心労と、責任感から生ずる諸々の感情は並大抵のことではなかった事を思い出し全く人ごととは思えないでいる。然しガバナー死去の感傷を長く地区運営に影響させる事は許されないのである。

後継ガバナー選出については、その重大性に鑑み、当然ながらいろいろな考え方、意見等が出し尽くされたと思うが、故加藤ガバナー後継問題の折、後継者の資格云云について、規則のみに捉われ過ぎた議論が一部に根強かった点は省みて不快の念を禁じ得なかったものであった。この時に当たり、新地区の企画から出発に至る迄、更にはガバナー代行幹事として地区運営の中枢を良く把握されて来た吉原後継ガバナーの決定は、正に当然の帰結と云うべきであったろう。友愛と信頼、思いやりこそがライオンズの基本であり、今回の良識ある結論に対し拍手を送りたい。

改めて吉原ガバナーの誕生を祝福し、新生地区の理念について語り明かし、合意されて新地区に臨んだ故式場ガバナーの精神を胸深く抱いて邁進されるであろう吉原新ガバナーに大きな期待をこめて、重ねて拍手をもってお迎えしたいと思うのである。

## いこい・ゆとり・なごみ

### ● ゆとり、で一言

日本では、経営効率が首位クラスと目されている熱海の○リゾートホテルの社長に聞く。一番の売り物は何ですか？ 答 ゆとり、です。

### ● 結婚記念日

我が国では、明治27年に明治天皇と皇后の銀婚式が、大婚25年祝典、という名義で行われたことから、結婚記念日は一般にも広まるようになった。

### ● 55年簡易生命表(7.26厚生省発表)

日本人の平均寿命は、男73.32才、女78.83才。前年に比べわずかに男女ともダウンした。ダウンは戦後では31年に続いて2度目だが、男女ともトップの人口27万人のアイスランドと肩を並べる、世界の長寿国、であることに変わりはない。

### ● 56年住民基本台帳に基づく人口と世帯数(7.26自治省発表)

総人口	117,009,002人
男	57,713,915人 (49.3%)
女	59,295,087人 (50.7%)
世帯数	36,346,662
1世帯当り人員	3.22人

### ● 長寿者は南高北低・女性性は男性の4.6倍(8.9厚生省発表)

厚生省は、百歳以上のいわゆる長寿者全国1009人を対象にした調査結果を発表した。それによると、「腹八分目」「物事にこだわらない」「酒、タバコはほどほどに」の「三大秘けつ」を守っている人たちが着実に長生きしていることがわかった。また、長寿者の生存分布はおおむね南高北低。性別では1対4.6と女性が圧倒的に多く生存者数も20年前の144人に比べると驚異的な伸び。この調査は世界で初めて。

# 第1回キャビネット会議開催

7月19日(日) 午前9時30分～午後3時30分

於・千葉県経営研修センター

式場ガバナーが病氣入院中のため、同ガバナーの要請によって、元ガバナー・名誉顧問会議長、杉浦明Lが推された。劈頭、議長は「333-C地区は船長不在の進水をしたが、記念すべき日本ライオンズ30周年という年度に加えて、L村上薫国際会長の誕生という未だ曾ってない意義ある年度にも当たるので、どうか和気協同、独立の基盤を築いて欲しい。式場ガバナーの全快を祈って止まない」と挨拶された。

なお、前ガバナー・333複合地区ガバナー協議会議長、清水武男Lは、333-B、333-Cと双児のキャビネットをも持たれる多忙な中を陪席され「1年にわたる周到な準備によって、ここに333-C地区の独立を見たことはすばらしい。キャビネット事務局の恒久化をはじめとするすべての試みはモデルケースでもある。スタート時において、式場ガバナーの顔を見られないことは誠に淋しいが、どうか総力を挙げて悔いのない1年に挑戦して貰いたい」と激励された。

会議は、式場ガバナーが理想とされている「楽しいキャビネット会議 — 和やかな話し合いの会議、実現のため、上着を脱いで — 座ったままの発言で、という形で真剣なうちにも和やかな討議が交わされた。

各クラブに関係の深い決議事項は、下記のとおり。

## 記

### 1. LCIFの強化運動について

前年に引き続きLCIF強化のため、会員一人当たり1ドル以上の献金を行う。

### ●女性は「若ボケ」、60代からは男性が逆転・脳老化40代から進行(66.8.8東京新聞)

女性の脳の老化(萎縮)は男性より10年早く訪れる。エクス線コンピューター断層撮影装置を使って各年代の男女の脳体積を測定していた東北大抗酸菌病研究所放射線医学部門教室で、女性にちょっと気になる研究結果がこのほどまとまった。

これによると、男性の脳萎縮が50代から始まるのに対し、女性は40代から顕著になっており、脳の老化の出発点に男女差のあることがわかった。だが60代以降は逆に男性の方が萎縮が激しく、最終的な「帳じり」では、女性の方がボケにくい——と出ている。

### ●CMタレントとテール・ツイスター

CMタレントの何よりの条件は明るく、茶目っ気があってちょっぴり悪魔的。容顔でいえばキラリと瞬間、人を捉える目の光。さて、テール・ツイスター?

いこい・ゆとり・なごみ



2. 青少年健全育成の重要性に鑑み、青少年育成資金については、前年度に引きつづき、地区内全クラブメンバー一人当たり1,000円を拠出し、その円滑な運営を計る。

### 3. 世界ライオンズ奉仕デーについて

本年度は、10月8日の世界ライオンズ奉仕デーに、日本ライオンズ30周年記念全国大会が日本武道館で挙行される。この日を真に意義あらしめる為の奉仕企画を、各クラブで立案するよう周知徹底する。ポスターについては、ACT・福祉・環境保全委員会において検討する。

### 4. 333-C地区81～82年度クラブエクステンション計画について

村上国際会長より、会長出身国として、各地区2クラブ以上のEXTを、本年度実現するよう、強い要請があるので、この趣旨を了承し、その実現に努力する。

### 5. 本年度表彰規定

本誌7頁参照。

### 6. 333-C地区第28回年次大会

日時 1982年5月9日(日)

場所 船橋市中央公民館

ホストC 1R1Zの6C

### 7. 本年度の出席統計

純出席率は採用しない。

### 8. 吉原キャビネット幹事をガバナー代理に推挙

式場ガバナーの病氣が長期にわたる模様なので、7月22日、村上国際会長の公式訪問が終了した時点で、吉原キャビネット幹事をガバナー代理に推し、一層の尽力を願うことになった。

このガバナー代理は形式的なものではなく、業務執行権をもつ実質的な代理である旨が付言決議された。

(本件、前号既報)



## 1981年度国際大会で決議

# 国際会則及び付則改正

法律顧問ジョセフ・D・ストーン氏報抜粋

**決議1.** 第7条3項の3節目の後に下記の新しい節を追加する。

「更に、上記の規定にかかわらず、いかなる国、植民地又は領域において、クラブがチャーターされ、それらが既存地区（単一又は準及び複合）に所属するしないにかかわらず、その国、植民地又は領域が国境または境界線内に地区（単一又は準及び複合）を持たない場合、国際会長は国際理事会の同意を得た上で、それらクラブをもって暫定地区を形成し、本協会及びそれらクラブにとって、その様な暫定地区形成が最良と思われる場合には、地区ガバナーを任命する権限を有する。」

**決議2.** 第7条7項の1節目の後に次の文章を追加する。

「但し、元地区ガバナーであれば誰でも1名、議長として、また更に同複合地区協議会の投票権を有する構

成員として1年延期を1回限り務めるため選出または選挙されることができ、同役職を再び務めることはできない。この場合、協議会構成員となる前地区ガバナーの総数は1名減少される。」

**決議3.** 第9条1項（b）の現在ある文章の後に次の文章を追加する。

「但し、1981年6月30日から1986年6月30日までの5年間、緊急用積立金から生じる収益は、別に主要資本増大基金とし、その元金と利益は協会本部に関連した主要資本支出のためのみに使用される。その支出には、本部の改築、増築及び同本部の主たる構造及び/又は設備の改造が含まれるが、その限りではない。1986年6月30日をもって、同基金の元金及び利益の余剰金は緊急積立金にもどされる。

（以上、翻訳文のまま）

### 千葉寺

猪鼻城の南1キロほど、大網街道のバス停千葉寺で降りたところが門前で、仁王門をくぐると石畳の参道の向こうにささやかな仮本堂が建っている。昭和20年7月7日夜半の戦災で大本堂が焼失、阪東観音霊場29番の札所として知られた海上山青蓮千葉寺の面影は失われたが、前庭の大公孫樹は寺の古さを物語っている。

### 葛飾八幡宮

本八幡駅から国道に出て右にまがれば、すぐ左手に葛飾八幡宮の鳥居がみえる。9世紀末、宇多天皇が宇佐八幡を分祀した下総第一の鎮守社であった。源頼朝が安房から下総国府に到着したとき、みずから参詣し武運を祈ったという、武将の信仰をあつめた神社である。

### 流山の新選組

鳥羽、伏見に敗れた新選組の近藤勇、土方歳三らは、流山の酒造家秋元家を屯所として再起をはかった。これを知った官軍は、香川敬三の指揮する一隊を派遣して撃破した。近藤は隊を解いて、一人官軍の門に降った。時に慶応4年4月3日のことである。

### 外房線の敷設

国鉄千葉駅から蘇我をへて房総半島の中央部を横断し、大網、大原、勝浦を通り安房鴨川駅にいたる93.6kmの外房線は、明治21年、蘇我～茂原、大網～東金間を馬車鉄道としてスタートした。明治23年には軽便鉄道に変更され、名称も房総鉄道と改称、1893年には軌道をひろげ普通鉄道となった。

## 房総スケッチ

### 証誠寺の狸ばやし

ある仲秋の名月の夜、証誠寺の和尚が眼をさますと、月明りになんと数十匹の狸が笛や太鼓で踊っている。そのおもしろさに、和尚もつりこまれ踊った。こうしてつぎの夜も、また次の夜も。ところが3日目の夜、狸の姿が見えなくなった。翌朝和尚が不思議に思って本堂のそばの川べりを見ると、腹の皮が裂けた大狸が死んでいた。

### 房総の名族

館山12万石、里見忠義は、清和源氏の流れをくみ、10代にわたる房総きっての名族で、武田、北条などと並び称された。その城は8代義頼、その子義康によって築城。父義康が他界するや将軍秀忠の御前で元服した。忠義と名のこの人は、里見氏最後の主である。

### 内房の町

鋸南町は三漁港をかかえ、昔から草花栽培と酪農の盛んな半農半漁の町で、風光に富み避暑地として名高い。元禄元年には、城米蔵米などを江戸に出荷する津出湊として保田湊の名が見え、寛文8年以降譜代大名の酒井忠国をはじめ忠美にいたる9代の間、安房勝山藩が配置され、やがて明治維新を迎えた。

### 手児奈堂

市川駅から国道にでると、まっすぐ真間山弘法寺に通じる道がある。そのつき当りに弘法寺があるが、少し手前を右に折れると手児奈堂がある。真間山のふもとに住む美しい娘、手児奈が何人もの若者に求愛されたことで胸をいため、ついに真間の入江に身を投じて死んだという哀れな伝説をつたえる手児奈の墓所である。



ライオンズクラブ国際協会333-C地区

# 1981～1982年度 表彰規定

1981年3月1日～1982年2月末

☆☆☆☆表彰の種類とその基準☆☆☆☆

1. 地区大会アワード

- (1) 優秀クラブ賞 (5年以上のクラブ)
- (2) 若獅子賞 (5年未満のクラブ)

評価基準表

項目	単位	得点
1 ガバナー諮問委員会に会長と幹事が出席した場合	委員会毎	+30
2 ガバナー諮問委員会に会長又は幹事のみが出席した場合	〃	+15
3 マンスリーレポートが毎月5日迄にキャビネット事務局に到着した場合	毎月	+50
4 国際会費の半期分が8月末日及び2月末日迄に納入されなかった場合	半期毎	-50
5 地区会費の各半期分が8月末日及び2月末日迄に納入されなかった場合	〃	-50
6 物品購入代金の支払いが60日以上遅れた場合	その都度	-50
7 新入会員	1人当たり	+30
8 復帰会員	〃	+30
9 退会会員 (移籍及び死亡は退会扱いとしない)	〃	-30
10 退会会員0クラブ		+70
11 出席率 (メイクアップ含む) 97%以上	毎月	+20
12 アクティビティ及びリーダーシップ育成・PR・情報活動評価	最高	+500

項目1・2	+30×3回=90
3	+50×12回=600
4・5・6	0
7・8・9	0
	1000点
10	70
11	+20×12回=240
12	DDG等の評価

以上のように新入・退会・復帰会員0名の場合、クラブ得点の内、運営面では1000点が最高となり、総合得点は12に関するDDG等の評価を以て変動するので、各クラブはACT・リーダーシップ育成・PR情報活動については、DDG・ZC・PR委員と緊密に連絡して正確に報告して頂きます。

F 本年度ガバナー諮問委員会の第3回目の資料は次期キャビネットへ申し送る予定です。

G 表彰対象期間を1981年3月～1982年2月末までの1ヶ年とします。

H 1981年3月～6月までの資料は、前キャビネットの集計資料を使用します。

2. 地区ガバナーズアワード

- (1) 青少年健全育成ACT優秀賞  
ガバナー方針にそって青少年健全育成に優れた成果を得たクラブ
- (2) 障害者対象ACT優秀賞  
事業資金獲得に成果を挙げ、それを基に優れた事業を実施したクラブ
- (3) クラブ運営、ACT優秀賞  
献眼、献血、献体ACT及びクラブ運営に大きな成果を得たクラブ

3. ガバナー特別賞

地区ACTスローガン並びに年間プログラムに沿いその高揚に成果を得たクラブ、その他、LIONS、LEO、YE、姉妹提携、研修行事に対する努力評価を含む。

- 備考
- 1 計数的に前年度の資料を必要とする項目はキャビネット事務局で算出し加算します。
  - 2 評価はマンスリーレポート及びDDG、ZC、委員長の報告を資料として行います。
  - 3 評価資料補完のためクラブに照会を行うことがあります。

- (注)
- A 諮問委員会は昨年度第3回目及び本年度第1回第2回の3回を対象とします。
  - B 項目1、2の会長代理に第1副会長が出席の場合は減点なし。その他の代理人が出席した場合は1人につき5点。
  - C 項目10の退会会員0については、会員維持の重要性に鑑み昨年度に引続き採用したものです。
  - D 項目12のアクティビティ及びリーダーシップ育成PR情報活動については、各リジョンのDDGがZC、PR委員の意見を参考に評価し、ガバナーが決定します。
  - E 例として、新入・退会・復帰会員0名のクラブで他の項目が全部グッド・スタンディングの場合、評価点は下記のとおりです。



## 10月は会員増強月間です

### 優秀な会員増強と新クラブの結成にご努力を!

優秀な新会員を増強し、活動的な新クラブを結成することは、ライオンズクラブを充実させ、ガバナーの方針を具現するための最も重要な鍵である。今年度は、新クラブの結成は勿論考えながらも、すぐれた新会員増強という質的なものに重点をおくことにした。最近各地の情勢を見ると、地域社会への奉仕活動は極めて活発になってきているし、奉仕活動に関心をもつ人たちは多くなってきている。したがって、すぐれた会員の増強、新クラブの結成の下地は十分に培われ、やり易くなってきていると言えるだろう。残された問題は、全メンバーがこの情勢をどのように受けとめ、どのように努力するかにかかっていると思う。そこで、会員増強と新クラブ結成について、重要と思われるいくつかの問題点を提起したい。

第1は、メンバーや各クラブが、地域内で活発な奉仕活動を行ない、地域住民から強い関心と尊敬を受けているということ。過去において新クラブを結成した各クラブは、その地域で声望があったことは言うまでもない。

第2は、メンバーは常に声望のある、しかも奉仕活動

地区・会員・EXT委員長 L.橋口一夫

に関心の深い人たちの発見につとめ、交流を深めること。

各クラブは相互に連絡をとりつつ、他地域のすぐれた人達を紹介しあい、会員増強、新クラブ結成に力をつくすこと。

第3は、メンバーが会員増強、新クラブ結成について明確なる方針をもち、且つ実践すること。

第4は、メンバー相互に、クラブ運営、ライオンイズム等、あらゆる問題について、つねに十分に話し合い、生き生きとしたクラブ活動を続けることにより退会会員を防止すること。

以上、何項目かにわたり所見を述べさせて頂いたが、会員増強と新クラブの結成は、大変苦勞の多い仕事である。然し、今年度は333-C地区が新発足し、その輝かしい将来を指向する第一歩を踏み出した年であるので、何分にもメンバー各位の絶大なるご指導ご協力を心よりお願い申し上げたい。

どうか1人のメンバーが、1人の会員増強を、そしてあなたの街に、もう一つのクラブを、

DDGシリーズ

1R DDG L.山田源一

### 333-C地区の幕明けにあたって

千葉県内LCの念願であった333-C地区の幕が開かれた。C地区の出発は、茨城・栃木両県のみでなく他地区の多くのLCも非常な関心を示している。

地区分割審議委員会の審議の結晶である。333-C地区ライオンズ憲章と数々の新しい企画を盛り込んだ、地区の基本構想が完成した。その運営には最初は戸まどいや理解しにくい点もあったかと思うが、ライオンズ前進のため温かく見守って欲しい。

分割によるメリットはCABサイドよりも単位クラブ又各メンバーが最も多く得るものでなければならない。

クラブも新地区の出発を期し、新風を吹き込み新鮮な魅力のある運営に心掛けねばならない。例会スタイルについても本家のアメリカの例会に出席し、あまりの活発さに驚き、TTやソングリーダーの任務と必要性がはじめて理解できた。日本の静かな真面目な例会と異なりメンバー同志の賑やかな楽しい語り合いの場としての例会も

又素晴らしいと思った。

事業面もLC主体のACT.については異論は無いが、協賛、賛助と他団体への寄付的金銭ACT.については大いに改革すべきである。継続ACT.などが増え、金銭ACT.の一件が、細分され奉仕活動として十分な満足感が得られない心配がおきている。

スケールの大きな、全く新しいACT.を地区内全メンバーが真剣に論ずる時期が到来したと考える。

地区分割と共に、我々は式場倭文夫LのGov.就任を祝福したのであるが、不幸にして病魔に犯され闘病の日もわずかで急逝された。フェニックスの大会への出席をあんなに楽しみにしていたのに、残念至極である。

悲しみを乗り越え、地区内全員が和と思いやりの心で後任のGov.に協力し、理想の333-C地区を完成させることが最大の供養であると思う。

DDGシリーズ

2R DDG L.野山青雲

### 私の好きな言葉「着々寸進」と「粘りに辛抱」

「着々寸進」は私の好きな言葉です。「洋々千里」ともいうのでしょうか、新幹線・ジャンボジェット機とスピード時代の今日、何かしら時代のズレが感じられます。又、メートル法の今は、「寸進」という言葉には抵抗を覚えることでしょう。

事を処するに当たって確実に処理し、それを確認して一

歩一歩踏み固め、こつこつと積み重ねても効果が僅少で尚且つ目的が遥か彼方で見る事ができない場合があるかも知りません。それでも「粘りと辛抱」で目的に向って前進することだと思えます。

いつの日か目的地に到達、目的を遂げる事ができるものと信じます。



登山をした場合に六合目八合目で息の切れることもありましよう。困難に遭遇して断念したくなることもありましよう。諸般の事情で一度後退を余儀なくされることもありましよう。然し再度再々度柳に跳びつく蛙の様に粘りに粘って頂上を極めた時は、困難の度が強ければ強い程その喜び感激は一入で、スーと吸う空気の甘さ、煙草の好きな人が思わず吸う一ぶくのうまさ、満ち足りた心、頂上を極めた方でないと判りません。仕事を為し遂げた者でないと味わえぬ快感です。

顧みるに、ライオンズクラブの退会者0運動を言うは易く簡単ですが、いざ現実となると至難の事と考えます。

然し緊急を要し疎かにはできぬ重要な事案です。クラブ会員を増加すればする程比例して退会者を出す危険が増加するのです。それでもやり遂げねばなりません。

入会者の選考もさること乍ら、クラブ例会のあり方をはじめクラブ活動を通じて付合いの相互理解に、やはり相互の努力、辛抱、粘りが必須の要件です。全会員の努力にその効果を期待して万全を計りましよう。

現在退会者0のライオンズクラブがあります。この先何年間でも此の良き状況を続けて頂きたいものです。

私達地区内のクラブも一日も早く、お仲間入りできまよう様努力致しましよう。

DDGシリーズ

5R DDG L.高沢 功

# 「雷雨」

昨年の夏に比べれば大変な暑さ、まさに夏の盛りの日7月22日の昼下がり、東京は高輪プリンスホテルで行われた333-複合地区ガバナー協議会主催の村上国際会長公式訪問に出席させていただきました。聞けば日本で最後の公式訪問と云うことで、これから各国訪問の旅に出発されるとのこと、国際会長ともなると一DDGどころの沙汰ではなく、大変なお仕事だなあと思わずつぶやいてしまい、心から今後のご活躍を祈念した次第です。

公式訪問に先立ち、DDG以上の方々の歓迎会があり、身近に接する機会を得ましたが、日焼けした健康なお顔精悍な眼、さすが世界140万会員の長としての貫禄充分、思いきって話しかけても気軽に受け取り、ウィットあり、ユーモアありで、僅か数分間でしたが、旧知の友人のような親しさを感じました。公式訪問でのお話も、心の平和、心の福祉を力強く訴えられ、会場を埋めつくし

た各Lも思わず身をのりだし、村上Lのスピーチに完全に引きずり込まれた様子でした。最後に、同席の90才を迎えられた林隆行、小野謙三両元ガバナーに記念品をさしあげ、最大の敬意と、お祝いを申し上げるあたり、正に「古くして、古きものは滅び、新しくして、新しきものも又滅び、古くして、新しきものは栄える」の名言どおり、新しきL、古きL、こもごも手を取り合せて、奉仕の道に邁進する姿を目のあたりに拝見し、公式訪問に参加させていただいた甲斐があったと、つくづく感じた次第です。

帰途、豪雨に逢い、タクシーの運転手が「雨の前は、ものすごい雷でしたよ」と話してくれた。自然もまた、村上国際会長の前途をお祝いして、特大級の祝砲の雨を降らしたのであろう、と思いました。

## 国際協調事業についてお願い

木更津ライオンズクラブ L.立澤達也 (地区会計監査委員)

ライオンズクラブの使命の一つに、国際協調という重要な仕事があります。その内容は、各位が既にご存知のとおり、外国クラブとの姉妹提携とか、青少年交換その他、国際親善に役立つもろもろの事項があります。

私共のクラブは、台北市仁愛国際獅子会と縁あって、姉妹提携をしております。地域社会への奉仕として、お互いの地に植樹等を行い、友好親善のために折々の交流を深めております。

この程、同獅子会のメンバーで、私の獅子友でもありプレス加工の下請を業としている会社の代表者でもある方から、便りが寄せられました。この方は、只今300-A地区の専区主席(DDG)をつとめておられ、ライオンズには大変熱心な方でもあります。

それによりますと、最近台湾も景気が下降し、自社製の特産品もないために、近隣他社との競争力に乏しいので、是非、日本の技術等を借りて、新たに頑張りたいと考えています。しかし日本の同業者との交流がないので、ライオンズメンバーの中から、投資開発または技術合作提供の希望がある方を探して紹介して貰いたいというこ

とでした。私も商売の畑違いのため本誌へ投稿をお願いいたしました。

次に記した希望条件は、原文のままでございます。

1. 日産、トヨタ自動車部分品製造の「プレス加工」若しくは組立メーカーで今に至り台湾で技術提供若しくは投資契約のない方。
2. 特殊電子部分品製造メーカーにして台湾での開発を求める方。
3. 家電用品にして日本にて理想的新産品製造メーカーにして、台湾開発を希望する方。
4. 精密機械及び工具製造メーカーで台湾開発若しくは提携を求める方。
5. 理想的で教育性の学童遊楽器具製造メーカー。
6. その他理想的な家庭用品製造メーカー。

以上の申し入れ事項に合った業種の方は、どうか木更津ライオンズクラブL立澤までご連絡下さい。早速先方をご紹介申し上げます。

先方は日本語または平かな漢字等、全部わかる方です。



アクティビティズ



木更津金鈴LC

7月12日午前6時から3時間、地元、久津間において「青少年育成の畑」(芋畑)の早朝清掃奉仕。  
参加者・会員14名、保育園児等32名。



木更津金鈴LC

7月12日成田空港へ、カナダからのYE受け入れのお出迎え。  
参加者・会員7名、受け入れ家族等7名。



八日市場LCの献血

7月13日午前10時より午後3時まで、八日市場市役所前において、ライオン20名が奉仕。  
献血者171名。



少年健全育成「剣道大会」開かる

木更津市体育連盟主催、木更津中央ライオンズクラブ協賛による木更津市内中学校剣道大会は、今年も7月21日、市立第一中学校において盛大に挙行された。同クラブの協賛は継続ACTで、優勝旗は4年前、同クラブが贈ったものである。



消防局に救急車を寄贈

千葉ライオンズクラブ(会長L山崎啓二郎、会員66名)は、昭和55年~56年度継続ACTとして、千葉市消防局に救急自動車一台(約400万円)を寄贈した。  
L金村忠一前会長(写真左)から目録一式を受ける松井千葉市長。7月23日、千葉市役所正面広場にて。



東庄LC主催「映画と講演の集い」戦の魔手より国を守り平和と自由を守ると誓う我々ライオンズならずとも関心の深い北方領土問題を東庄LCがとりあげ、「映画と講演の集い」を、地域内の一般の人々を対象に開催。当日7月24日は晴天に恵まれ、11時開会の30分前には会場の鯉屋旅館特設会場はほぼ満員の盛況。この問題に対する関心の深さを物語っていた。映画は「脅かされる北の守り」講演は「日本の防衛を考える」下志津高射学校長三木秀男陸将。  
(4R・PR委員L木内直義記)



**ライオンズの森、坂戸神社清掃（袖ヶ浦LC）**

7月25日(日)朝6時より、ネスクラブとの合同で、ライオンズの森の清掃を行った。早朝より汗と泥にまみれながらも、力一杯働き、すがすがしい思いで、疲れも忘れるひとときであった。



**公報車によるクリーン富津運動（5R・2Z富津LC）**

毎年のことであるが、海水浴シーズンともなると、海岸一帯は、心ないものにゴミや空カンで汚される。我が町、我々の海を守るためメンバー30名は、7月25日午前6時より10時まで、富津海岸一帯で汗を流した。



**下総中山地区の新しい名物「少年すもう大会」**

下総中山地区の新しい名物となった「少年すもう大会」が7月26日、灼熱の太陽が照りつける会場で9時30分より開催。小学生男女465名が参加。国歌吹奏、来賓に市川、船橋両市長はじめ多数を迎え、チビっ子天国は盛上がった。下総中山LCでは53年を第1回とし、毎年、少年の基礎体力の向上をめざし開催している。第1回は160名と参加人員も少なく、PR不足と頭をなやませたが、連絡活動によりその趣旨が理解され、今では地域の子供会、町内会、各地域団体の積極的な協力が得られて、PRす



**柏中央LC主催の献眼登録（7月26日）**

登録者18名(内クラブメンバー3名)

る迄もなく早々と申込殺到で、嬉しい悲鳴を上げるようにまでなった。この「すもう大会」の魅力は、男女の別なく子供を出場させること。そのせいか今年は女子が半を占めた。協賛出場の九重部屋の若手力士による模範演技、子供との取組等に見物席も一家総出。この行事を各新聞社が取材、写真入りで報道した。



**白子LC主催「第2回白子町内小中学校児童・生徒水泳大会」開催**

7月28日午前9時より白子中学校プール 継続事業として、町教育長、関係学校長、警察署長、青少年相談員、DDG、PR、スポンサークラブ会長等注目のうちに、数十名の選手が元気に競技を開始。新記録も出て盛会裡に終了。



**交通安全ランドセルカバーを寄贈**

我孫子LCでは結成以来、新入学児童の登下校時の安全を願い、継続ACTとして、写真のランドセルカバーを寄贈している。今年で通算1620枚のカバーが、市内の小学生の背に輝き、交通安全とLIONSのPRに貢献し、地域住民との理解と信頼を深めている。

(1R・PR委員 L西野 茂記)

**大網白里LC「レンゲツツジの植樹」**

姉妹クラブの吾妻LC(333-A地区)より寄贈されたレンゲツツジを、7月5日、町内10ヶ所に植樹。

**茂原LC、茂原長生LC、七夕祭に協賛**

全市をあげての七夕祭(7月1日~19日)の飾り付けと民謡コンクールに、トロフィーと楯を寄贈。会長は審査員として参画協力した。





# クラブ・ネスクラブ・YE便り

## 国際色ゆたかな納涼例会

柏LC L.萩原 宏

恒例の家族納涼例会が、7月15日市民の憩いの場で知られるニッカウイスキー東京工場で開催。トランス交換学生、YE派遣学生、ホストファミリーを含む約200名の大会である。開会ゴングの後、アメリカ国歌がなされ、ほのぼのとした国際感情がただよう。浴衣に下駄ばきという日本情緒の中で、若者同志は国籍をはなれ談笑している。例会料理の特徴は手造り接待。なれない手つきで箸を持ち、流しそうめんを面白そうにすくって喰べる金髪女子学生の姿は国際色豊かな夏の風物詩でもある。焼きとり、綿あめ、氷屋など模擬店も大わらわ。やがて柏おどりのリズムと共に踊りの輪が広がり、時のたつのも忘れる。仕掛け花火ナイヤガラが夜空に映える頃、やがて終幕。名残りつきない思いを胸に閉会ゴングが鳴りひびいた。



YE生を招待しての納涼例会

## 我がネス委員会

山田町LC幹事 L.喜多見哲夫

8月3日、山田町LCネス委員会が町内の山中食堂の2階大広間で開催された。

ネスリーダーの要望もあり三役出席する。28名のネス会員が制服で列席した姿は偉観である。役員を引き継ぎと毎年の行事である一泊二日のレク計画も終了、ウィサーブによりネスらしい会になりました。

和やかな楽しい会であり、又懸命な吾々への接待に唯々感じ入りました。日頃あまり面接のない町全域からの

集まりだが、一夜の委員会の席で友情あふれるコミュニティの輪の中にある姿は、他の如何なる集合にも見る事はないでしょう。

お互いに多忙な日々を送りながらも、月2回の例会、月2回の理事会。計画されたアクティビティに欠席のない様、又時間に遅れない様に、気持ちよく送りだしてくれるネス。社会的に有能な新人獲得に陰の力となり、努力的で、無欲で、建設的で、楽しい会であるネスクラブに心から敬意を表したいと思う。

発足3年目、築いた信望は微々たるものであるが、より高く築き上げるためにも、お互いに研鑽の道を忘れない様に努力したいものである。

吾々もネスも躍進するライオンズに必要な人間となるために。

## 「わが歩み」

山田町LC PR・情報委員長 L.大照堯弘

その昔、東京湾を見て、この水はロンドンに通じていると言った人があるとか、往時の日本の国際社会への大なる憧憬が込められた言葉である。

世は明治から大正・昭和へと移り変わる中で、国際社会

に参画する日本の立場も幾変遷したが、さて一市民として、「貴方と国際社会との関連は？」と問われても戸惑うことが大方であろう。

3年前、干潟クラブのスポンサーにより、山田町LCは誕生した。漸く1人歩きを始めたばかりであり、ウィサーブの声も高いとは云い難い。然し乍らどんなに小さくともウィサーブと発するとき、それは全世界のライオンの合唱を呼び、広く人類社会に貢献することができるという、ライオンズクラブの素晴らしさ。国際社会人の一員としての自覚が少しずつ芽生えつつある今日である。

## 障害者施設にステレオ贈る 千葉京葉ライオネスクラブ

「完全参加、と平等、」——国際障害者年のテーマを掲げ、去る7月4日・5日の両日、千葉市産業祭りの会場で、千葉京葉ライオネスクラブ（会員24名）は、新年度ACUのトップを飾るかのように、熱気に満ちたチャリティセールを実施した。

このチャリティで得た収益は、当初の目的のとおり障害者の通園施設、千葉市療育センターに視覚障害者用の

←ライオネスクラブ・チャリティに激励する松井市長（中央）  
7月4日、千葉市産業祭りの会場で



# わがライオンズ像

「これからのライオンズ像、  
「これからのライオンズを考える、  
「これからのアクティビティを考える、  
「私のアイデア、

## 私の提言

### 『統一(組織)アクティビティの探求』

市川LC会長 L.関口博之

ライオンズ30年の歴史と共に、日本の社会は激変した。福祉行政の充実化が進み、時代は加速度的に複雑化・多様化している。

この激しい流れの中にあつて、我々は今までActivityに対する考え方に何か変化をもたらせて来たであろうか。

新しい時代の対応策として今一番大切なことは、「クラブを単位とし、その地域社会に対して実施する」というActivityの原則を尊重すると同時に、固定観念化された思考から脱却し、もう一つの特異性、奉仕の「自由性」をもっと取り入れる事ではないかと思う。

今日迄のライオンズクラブは小規模なActivityを数多く行う方法を取って来た訳ですが、これからは高度な企画内容を持ったもの、真に心うつものへの、即ち少数重点化への転換が必要なのではないかと思う。

それは零細化から大型化へ、又資金面では細分化から集中化への転換であり、分散化されていた奉仕効果の高率化である。

どんなに福祉行政が進んでも、いつの時代でも解決の難しい「問題」は発生している。

我々は常に問題意識を持ち、現代社会に内在する諸問題の中から最も貢献度の高いものを一つ撰び出し、その

「解決」に挑戦しなければならない。

全日本14万有余の大きな組織力、その持てる叡知・労力・資金力を結集し、日本を代表する統一(組織)Activityを創造・開発することがその「解決」への挑戦であり、これからのライオンズクラブ発展の為に必要な大きな課題であると思う。

又単一クラブのActivityが真に優れたもの、高次元の企画内容を持ったものであるなら、それはやがて他の多くのクラブから共感が得られ、共同の輪が広がり、大きな統一(組織)Activityへと発展して行く可能性を有していません。

所謂単一クラブのActivityの積極的高度化が望まれる所以である。

いずれにしても、14万全Lの叡知を結集して、権威あるActivityを探求し、日本ライオンズを象徴する様な代表的Activityを樹立して行くことが、ライオンズの奉仕は場当り的で心うつものが少ない」という客観的批判を打破する為にも是非必要なことではないかと思う。

## 獅子身中の虫

八日市場LC リーダーシップ委員長 L.江畑 魁

百獣の王ライオンは、野性の中で、他の動物に倒されることはないが、自身の体内にいる小さな虫によって倒されてしまう、という諺は、様々な教訓を含んでいる。

なお、同クラブが自らの努力で実施したチャリティについては、Ls実川委員長が、「今回のチャリティは国際障害者年を記念し、同時に、新年度のスタートに花を添えようと前年度末から計画して参りました。また、この実施活動をとし、ライオネスクラブのPR、更にライオネス間の友情の深まりから、より以上の団結心がはぐくまれることを願ってのことでした。勿論、その目的が達成でき、ほんとうに嬉しいこととございます」と喜びを語っていた。

ステレオ一式(約34万円)を贈ることを決定し、会長Ls桜木縫子、実行委員長Ls実川英子(前会長)に新旧三役らが7月23日午後2時、千葉市長室に松井市長を訪ね、Ls桜木会長は「身障者の方に、少しでも音楽を楽しんでいただければと、本日、目録をもって贈らせていただきます。なおこの目録には、市内オールLC(千葉、千葉中央、千葉エコー、千葉京葉、千葉若潮)からなるご支援の真心もこめられております」と、松井市長に目録を手渡した。

## 柏市、トーランス市交換青少年招待旅行記

柏中央LC PR会報編集ライオンズ情報委員長 L.上野正勝

1981年7月27日(月)筑波山一日ホスト旅行を柏中央ライオンズクラブの国際サービス・YE委員会主催で行なった。午前8時30分、柏市総合体育館前に集合し、9時、大型バスで筑波山に向った。車中で、柏市・トーランス市姉妹都市委員長寺嶋周三L(柏LC)の挨拶、菅原会長、金子幹事に引続き参加メンバーが、外国人は日本語日本人はできるだけ英語と、片言ながらユーモアたっぷりの自己紹介に、車内は和やかな雰囲気になった。やがて筑波山に到着。宇宙博物館、ロープウェイを楽しみ山頂の茶屋で昼食。外国人の箸の使い方の上手なのに皆びっくり。あいにくの霧に関東平野の遠望は不能。しかし、小鳥さえずる山道のハイキングを楽しみながら帰路につき、牛久シャトーへ向った。シャトーでは楽しかった思い出を語りながら、バーベキューに舌つづみをうっ



柏市、トーランス市青少年交換学生ホストファミリー、YE学生。筑波山にて

た。ディスコ大会、ゲーム大会、そして交換学生をまじえての帰路の車中カラオケ大会など……。なごりつきない別れを惜しみつつ、一同また逢う日を約した。



近来、各ライオンズクラブに於いて、会員増強の伸び悩みや、退会者の増加を防止する方策が、つとに叫ばれている。この問題については、退会者に責任をとり、退会者がライオンズムの理解に乏しかったと云うような見方とは別に、問題をクラブの内側から考察することも必要ではなかろうか。

クラブ内に、退会者に嫌われ、又は退会者をクラブから追放してしまうような獅子身中の虫がいるのではないだろうか。反省する必要がある。個々の退会例について考慮してみるに、残念乍ら、退会者はライオンズムに十分な理解と同調を示し乍らも、対人関係の不満から退会

に至ったと考えられる例も、少なくないのではなかろうか。しかもその場合「悪貨、良貨を駆逐する」の故事の通りに、優秀なライオンズマンが、獅子身中の虫によって駆逐される場合も考えられる。

又、会員増強に際しても、あんな獅子身中の虫のいるクラブに、入会なんか出来るものか、と世間から拒否されるような獅子身中の虫は、それぞれのクラブ内に居ないだろうか。然らば、どんなメンバーが獅子身中の虫なのかを、各メンバーは良く反省し、自分自身が獅子身中の虫にならないように一層知性を高め、友愛と寛容の精神を養うべきだと思うものである。

## 新会長をデッサンする

銚子LC 情報委員長 L.菊前 博

本業は内科・小児科を標榜する医者であるのに、一体ことひとは、なんなのだろうと考えさせられるのが、わが銚子LC第19代の現会長、須藤節也Lである。無線飛行機のマニアであり、自動二輪車のマニアであるかと思うと、プロ級の写真家であり、また本物の画家でもある。ともかく、一つのものに凝りだしたら、徹底してやる。わき目もふらずにやりとげる。その意欲はすさまじい。何についても同様である。現在、彼の車庫には、旧車BMW R-69 S600ccをはじめ、ホンダGL1000cc、モトグッチG-51000cc、ロイヤルエンフィールド350cc単気筒、西独陸軍用ザックスK-125等、珍しい新・旧車が納まっている。一時期は、側車付BMWをもったこともある。誰も側車に乗せられるのはありがたいがらないので、奥さんが被害者になる仕儀となる。聞き違いかも知れないが側車に乗せられ、400km程の恐怖のドライブをされたこともあったという。しかし、話をされる奥さんの言葉の端々に、悟りきった楽しさが感ぜられるのは私の僻みなのだろうか？絵もその通り。彼は、10年程前上野の美術館の新槐樹社展に出品し、佳作賞を獲得した。明るい画調

の漁船の画であったと記憶しているが、いつの間にか油絵にとりつかれ、なりふりかまわず絵の本質を求めて、凄絶ともいえる精神の世界を描写しようとする画境に、のめりこんでしまった。自邸の庭にアトリエを建て、100号、200号のキャンパスに立ち向かい、チューブから絞り盛った絵具を、パレットナイフで、たたきつけ、削り取っての制作を、荒行僧そのものの心境で朝を迎えることもしばしばとか。時に昼間会う彼の蒼白な顔が、昨夜の苦闘を物語っていることもあった。

彼の医院は、昼間患者が列をなす。ひとりひとり丁寧に、医師になりきって診療することが、患者から絶大な信頼を寄せられる所以であり、遠方からも患者が集まってくる。この本職を続けつつ、彼は遂に新槐樹社のあらゆる賞をとりつくし、委員となり、展覧会の審査員のひとりとなった。

彼が今年、わがクラブの会長となると、ライオン誌の発行を志した。膨大な原稿の編集のため、猛暑にめげず毎夜、暁方までかかって、すべての原稿を二度もチェックして書きなおしたという。

志すと、執念をもって自己のものとする彼の姿に畏怖するとともに、患者には自らの能力のすべてをかけて治療する責任感に畏敬し、彼は一体なんであろうと思っているものは、私だけではなさそうである。

## ACT 雑感

総武中央LC会長 L.田中歳三

ライオンズのACTについては、以前からもっと労力ACTを充実させたいと思っていたが、先日の村上国際会長の公式訪問における講話の中にも同趣旨の事があり、わが意を得た思いであった。もちろん、金銭ACTも、なくてはならない貴重なものである。元手がなくては何もできないのは当然である。ただ、ポケットに手を入れて小銭を出した後は、その手で上着を脱ぎ、腕まくりをして、今度は汗を出してACTに励もうではないか、というわけである。国民の大半が中流意識を持つに至った現今では、なおさら「身をもって」という姿勢が必要と

思われる。又、本年度は特に「ゼロ・ドロップアウト」が重点的にとりあげられている。この目的達成のためには楽しい例会も結構、閉会後の二次会も結構であろう。しかし、労力ACTを共にし、一緒に汗を流す事が、強い仲間意識を生み出すのに一番効果がある様に思われる。この参加の経験をふまえてこそ、例会での事後報告や事業計画の討議にも真剣になり、熱も入るというものであろう。ポケットの小銭の額は1人1人ちがっても、身体はだれも同じく一つは持っているのだから、労力ACTには全員参加できるはずである。(もちろん、自己の本業の都合であるが)クラブ運営の面でも、この全員参加で行きたい。これができれば、三役の負担の重さにエレクトをいやがり、理事会が苦勞することも少なくなるのではないか。以上の事を少しでも実現に近づける様、今年一年間努力して行くつもりです。

先鞭を切って

### “PR・情報研修会”開かる

8月12日(水)、1R2Zの第1回ガバナー諮問委員会が、ZC鈴木和夫Lのホームグラウンド、我孫子鈴木屋本店で開催された。松戸LCはじめ柏、我孫子、柏中央、流山、松戸中央、柏グリーン、松戸東の各三役および事務局員、それに、当日PR・情報委員会研修

セミナーとあって、各クラブのPR・情報委員長と総勢47名が出席。本会議での飯塚地区PR委員長の挨拶の後別室にて研修会を開催。ガバナー方針に基づくPR・情報活動のあり方、これからのライオンズを考えクラブ会報の発行。地区ニュースへの投稿要領、ACT運営の推進役としての任務等、西野PR委員の熱の入った問いかけ説明に、一同その重大な責任を自覚し質疑応答など実のあるすばらしい研修会であった。



## これからの行事 『青少年善行表彰』について

4R. 1Z 東庄LC 広報委員会

本年度会長の方針として「ライオンズクラブの原点に帰り、会員の融和と親睦につとめ明るい社会を作る」ため、7月の理事会及び少年少女委員会は、善行児童・生徒の表彰事業を立案し、これを9月に実施する事とした。

その趣旨は、クラブ運営方針の中に「青少年（少年少女）の健全育成に努力し、地域社会のニーズを適確に把握し、ライオンズとしてどのように対応していくかを充分考えた上で活動していく」とあることに基づき、郷土

の発展、日本の繁栄そして世界の平和に貢献しうる明るくたくましい青少年を育成するための、少年の善意や親切心に基づく善行を広く顕彰し、少年のすぐれた善意や行為をたたえるとともに、その風潮を全地域に広めてゆこうとするものである。

名称は、「東庄ライオンズ賞」内容は、善行についての表彰のむずかしさは、「善行」というばくぜんとした言葉にある。その意味に於いて、ライオンズ賞はその善行を具体的なものとしてその都度明示し、該当者を表彰する。

本年度は「国際障害者年」にあたり国民が自分自身の問題として関心を持ち意識を高める必要があるので、正しい理解を持ち、善意にもとづくボランティア活動、行為を実践している者を表彰する。

- 対象はクラブ員所在の小中学校で個人・団体とする。
- 申請候補は各校長より提出し委員会で審査する。
- 表彰者には賞状・物品を授与し表彰する。

## 魅力ある例会を夢みて

飯岡LC PR・情報委員長 L.鈴木 一

ライオンズクラブの使命は地域社会への奉仕にあるのは論をまたない。しかしながら本来の奉仕はメンバーの一人一人のそれであり、相互の信頼感により行われる。毎月2回の例会にて培われ広がるものである。その為にはメンバーの例会参加が自主的に足が向くような雰囲気であればならない。それ故に歴代の幹事ははじめ役員は努力している。

ライオン・テーマーは会場の設営は勿論、食事に腐心している。各人各様好みの違うメンバーにどう合わせるかと。健康を望みながら夏季はスタミナ補給に鰻弁当、冬季は身体の暖まる麺類、或いは気分転換に会場を移し出張例会にて英気を養うよう心掛けています。人口1万有余の狭い町のため満足な事が出来ないのが悩みの種であ

る。出席委員会では出席奨励賞を用意し、毎例会ごとメンバーに出席カードを配り（抽選No.記入）例会次第に従い幹事報告、委員会報告ののち、T.T.タイムの合間を縫い会長の抽選にり、当選者にささやかな記念品を贈り、例会出席を奨励している。誠に他愛のないものだが、メンバーにより孫の土産にと結構喜ばれている。

又会員の健康管理、趣味及び教養の向上等をテーマに斯界の知識人に講話を依頼し、日常生活の高揚に役立ち且つ例会の内容が一段と充実するよう努めている。健康管理については医師、(昨年は地元の開業医) 趣味についてはメンバー内より(碁・将棋等)、その他警察署交通担当係を招き、交通安全意欲の再確認を願い、より一層安全運転に寄与することを希望している。

以上莫とした内容であるがメンバーが例会出席により地域社会に奉仕する意欲を湧きたたせるよう、例会内容の充実努力している。

その他、会員の親睦の緊密をより図るため、一泊の親睦出張例会とネスの方々の内助の功に報いるため観劇旅行を実施している。

## クラブの事業計画について

干潟LC PR・情報委員長 L.玉真哲雄

7月3日理事会が開かれ、本年度の事業計画について色々検討された。結局本年度の主たる行事は、去年から始まった結婚相談を継続する事と青少年健全育成を「スポーツ」を通して更に積極的に行っていくという事の2つである。

結婚相談については、前年度は、千葉船橋間総武線沿線へのチラシ大作戦(約20万枚)を行ったり、近隣の事業所、工場等を訪問して協力を依頼した。又、委員の方々による個々の活動も活発で、7~8組の縁結びが出来た。今年もチラシ作戦を継続し、テレビを通じてPRする。又、近隣事業所女子職員との話し合い会、未婚男女の地区ボーリング大会を計画している。農業後継者の嫁不足という事は全国的な傾向で、非常に深刻な社会問題となってきた。干潟LCでは未婚男女の名簿を作り極力その縁むすびに協力していくという事がきまった。私見ではあるが、嫁不足、つまり女性の絶対数が足りないという大きなハンディは、さし当って如何ともしがたいが、一LCだけの結婚相談でなく、ゾーン単位、リジョン単位という風に段々拡大して運動していけば、もっともって成果が上がる気がしてならない。

次に、青少年の健全育成を「スポーツ」を通して、積極的に行っていくという事。だが、これは次のような次第である。

先ずこの7月30日、東庄町営野球場において、干潟LC主催香取郡軟式野球大会が開催された。この会の発足は昭和52年鴻巣がバナーの時、333-B地区野球大会が開催された際設立されたもので、今迄は干潟・東庄・多古の3チームの参加で行われていた。今回は、大栄、佐原両チームも新たに加わり、地元(東庄町)2チームと、計6チームが参加した。比較的野球熱の低いと言われていた当地区で、参加チームが徐々にふえていくという事は喜ばしい現象で、少年野球連盟を益々強化し、大会を今後とも主催し、「スポーツ」を通して青少年健全育成に真剣に取り組んでみるつもりである。又、11月に「スポーツ・デイ」を設定し、可能な限りのスポーツ(陸上・ソフトボール・サッカー・ミニバスケット等)をとりあげて1日ゆっくり、みっちりスポーツを楽しんで貰いたいと思っている。対象は5・6年生(男女)という事になるが、基本をみっちり教えてみたいと思っている。そして素質のある子はどんだんのばしてみたい。

結局、3地区小学校対抗戦の形式になると思うが、人間は競争する事で進歩向上するものだと私は思う。又その計画にあたっては、今後、学校教育をはじめ各種のボランティア活動との連携を密にしていきたいと思っている。

## こちら内局

内局…と呼ぶライオンズ用語はない。9年昔、榎CABの時、幹事、会計、正副などがガバナー側近の地区役員をひとまとめに総称して名付けたのが始まりで、防衛庁の「内局」の機能を思い浮べる方もあろうが、造語ではない。

CAB、GOV、EXT.などの略語もその時以来使わせて頂いているが、DDG、ZCなど唯でさえ横文字略称の多い処へと、御批判の多いことも知っている。

処で、CAB（キャビネット）とは、ガバナーを筆頭として構成されている地区役員の人事構成の全体像のことであって、キャビネット事務局そのものではない。まして、キャビネットとは内局スタッフのことでは更でない

のである。

ガバナーを補弼する立場の限りに於いて、ガバナーの意志伝達の指揮をするだけのことであろう。間違っても「ライオン」の威を借りて私見で運営に当ることは許されない。一般に、サービスの中核に在る立場は、公正を欠かぬこと、誠意を以て当ることが肝要と言われる。

私達の新しいキャビネットの内局に、御殿女中、茶坊主主義のいまいましきは金輪際育つことは無かるうに、こゝは自戒を含めて老婆心に過ぎた妄言多謝。時は移り人は去っていく。併し、あの貧しくはないが、小さな政府をと、思いやりと友情の絆を信じて、みずみずしく清廉に謳いあげた故式場ガバナーの遺志を無にすることのないよう、地区もクラブも、内局を介して親密を深めて頂きたい。（キャビネット副幹事 L 北村泰彦）

## 予告

9月12日（土）	5 R 2 Z	ガバナー公式訪問
13日（日）	5 R 1 Z	〃 〃
14日（月）	6 R 1 Z	〃 〃
15日（祭）	6 R 2 Z	〃 〃
19日（土）	7 R 1 Z	〃 〃
20日（日）	7 R 2 Z	〃 〃
26日（土）	4 R 1 Z	〃 〃
27日（日）	4 R 2 Z	〃 〃
10月3日（土）	3 R 1 Z	〃 〃
4日（日）	3 R 2 Z	〃 〃



8日（木）	日本ライオンズ30周年全国大会
〃 〃	世界ライオンズ奉仕デー
17日（土）	佐倉LC15周年
〃 〃	2 R 1 Z ガバナー公式訪問
18日（日）	2 R 2 Z 〃 〃
21日（水）	DDG会議
24日（土）	1 R 2 Z ガバナー公式訪問
25日（日）	1 R 1 Z 〃 〃
1～31日	会員増強月間

## 「地区ニュース」への寄稿のお願い

編集部では、次のような記事や写真のご投稿をお待ちしています。

### ・わがライオンズ像（問題提起と討論の場）

- ・これからのライオンズ像、
- ・これからのライオンズを考える、
- ・これからのアクティビティを考える、
- ・私のアイディア、 等を歓迎します。

- ・ユニークなアクティビティ
- ・心すべきクラブの努力紹介
- ・いこい・ゆとり・なごみ

L以外の記事でも可。リジョン内の文化・行事・メンバーが知りたいこと、メンバーに知らせたいこと、ユニークな家庭、楽しい例会等、なんで

も可。

- ・有意義な論説やコラム
- ・YE・レオ・ライオネス関係記事

投稿要領は次のとおりです。

- ・締切 偶数月の15日（10日間延ばしました）
- ・宛先 CAB事務局（なるべくPR委員経由で）
- ・用紙 なるべく指定原稿用紙（PR委員所持）
- ・字数 「いこい・ゆとり・なごみ」の記事は、なるべく130字以内。その他は、特別記事を除き、なるべく300字以内。結論を簡潔にお書き下さい。

## 編集後記

真綿を引っ掻いたような高い高い雲、大空を真っ赤にそめて沈む夕方の太陽、スイスイと飛び交う赤トンボの群、あれほど賑わった海山も、すっかり静けさをとり戻した感じです。

日中の暑さはまだまだ厳しいことながら、冷夏の予想を裏切って真夏日の連続したあの頃を思うと、ほっとして、胸一杯、大気を吸いこみたくなるサワヤカさです。

皆様、この夏は如何お過ごしでしたか？

わが地区でも、この夏はいろいろなことがありましたが村上国際会長の公式訪問、式場ガバナーのご他界と悲喜交々の真夏日でした。幸い、ここで満場一致、吉原ガバナーが誕生し、地区の運営に一切の事なきを得たことは、以てよろこびとするところであります。

虫の音の高まりとともに、追々と秋の夜長を迎えます。夏の疲れがでませんように、ご自愛下さい。

そして、ライオンズの奉仕と運営に、サワヤカな秋の再出発を望みます。（H. I. 記）